

🌀 退職にあたり

奈良文化財研究所に令和2年4月に着任するまでは関西圏の大学を6機関経験しました。

京都大学では総合博物館建設、奈良先端科学技術大学院大学ではiPS細胞研究の山中教授と協力して動物飼育実験施設建設、大阪大学では15階建ての高層研究棟建設等に携わり、施設(建築)担当としていろいろと経験させていただきました。

奈文研着任早々、新型コロナウイルスの感染予防のため自宅待機となり、週に数回の出勤体制となりました。慣れない職場で毎日仕事にとりかかれない状況でとまどいもありましたが、その時間を利用して奈文研関連資料を読み、仕事の準備ができたことは良かったと思います。

実務からしばらく離れていたこともあり、前任者に問い合わせしながら平城宮跡資料館講堂の天井耐震改修や文化財防災センター開設のための監理棟改修等をみなさまにご協力いただき予定とおり完成させることができました。

また、本研究所では南門復原工事の定例会議に出席し、間近で復元工事の進捗をみる事ができたこと、文化庁の方々に同行し高松塚古墳壁画、キトラ古墳壁画を壁画保管室から間近にみる事ができたこと等、奈文研に勤務していなければ経験できない貴重な体験ができたことは大変ありがたく思います。

2年間という短い期間ではありましたが、仕事において慣れないこともありご迷惑をおかけしたこともあるかと思います。紙面をお借りしてお詫びしますとともに大過なく過ごせたのもみなさまのお陰だと感謝致します。ありがとうございました。

(研究支援推進部 岡本 保彦)



本庁舎正面玄関にて